

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成30年1月10日

協議会名: 岡谷市市域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
アルピコ交通(株) JRバス関東(株) アルピコタクシー(株)	今井・長地線 長地・今井線 市街地循環東ルート線 市街地循環西ルート線 川岸線 川岸橋原線 やまびこ公園線	利用状況の検証により、長地今井線、川岸線、市街地循環線東ルートの一部の便において路線変更・ダイヤ改正の検討を行い、平成29年10月からの実施について決定した。	A 計画どおり事業は適切に実施された	B 平成28年12月より新岡谷市民病院への乗り入れや年末年始の運休、各路線の変更及びダイヤ改正を実施し利用者数の向上を図ったが、利用者数の大幅な増加にはつながらず、また、車両の老朽化による修繕費の増加から運営状況は厳しい状況が続いている。 収支率の目標達成には路線の大幅な削減が必要となるが、利便性の維持が難しくなるため、今後は、市民アンケート実施に向けて調整を行い、利用者の満足度等の利用状況を把握し、引き続き検証を行う。 また、以前から検討事項である運賃の見直しについても慎重に検討を進める。加えて、利用促進に向けた啓発PRは高齢者をターゲットとした取り組みや、無料回数券の配布等に新たに取り組む。	平成28年12月より新岡谷市民病院への乗り入れや年末年始の運休、各路線の変更及びダイヤ改正を実施し利便性の向上を図ったが、利用者数の大幅な増加にはつながらず、また、車両の老朽化による修繕費の増加から運営状況は厳しい状況が続いている。 収支率の目標達成には路線の大幅な削減が必要となるが、利便性の維持が難しくなるため、今後は、市民アンケート実施に向けて調整を行い、利用者の満足度等の利用状況を把握し、引き続き検証を行う。 また、以前から検討事項である運賃の見直しについても慎重に検討を進める。加えて、利用促進に向けた啓発PRは高齢者をターゲットとした取り組みや、無料回数券の配布等に新たに取り組む。